

芸術文化の振興

齋藤与里絵画の修復

■ 事業の目的・概要

令和元年12月に、加須市出身の個人(匿名)の方から齋藤与里絵画の修復のため、1,000万円の寄附がありました。そこで、この寄附を活用し、多くの方に齋藤与里の絵画をご覧いただけるよう、修復計画の前倒しを行い、令和2年度に本市所蔵の齋藤与里の絵画の中から、傷み具合などを考慮した上で、以下の3点の修復を行います。

■ 修復する絵画

- ①「北畠風景」(10号)
- ②「静物二」(10号)
- ③「ハトと少女」(10号)

※修復した絵画は、順次当該絵画を中心に「齋藤与里展」を開催し、一般公開する

☆ 令和2年度予算額 1,522千円【市費】

偉人顕彰事業 1,522千円



齋藤与里(1885年(M18)~1959年(S34))

洋画家

北埼玉郡樋遣川村(現加須市)に生まれる。

1905年(M38)京都にて浅井忠、鹿子木孟郎に学ぶ。鹿子木孟郎とともに渡仏し、パリのアカデミー・ジュリアンで学び帰国。帰国後は、岸田劉生、高村光太郎らとフェウザン会を結成し、明治末から大正期の日本洋画の進展に大きな役割を果たす。

1915年(T4)第9回文展にて「朝」が初入選し、翌年の第10回文展に出品した「収穫」が特選となる。

1959年(S34)に日展評議員、加須市名誉市民第1号となり画業と人格をたたえられる。

「加須の偉人」の一人。

齋藤与里展の開催

令和元年度は、「加須の偉人」である齋藤与里没後60年にあたり、特別展を開催します。今回の特別展は、令和2年2月末修復完了予定の100号の大作「合奏」のお披露目も兼ねています。

- 1 期間 令和2年3月6日(金)~8日(日)の3日間
9時30分~16時00分(最終日は15時まで)
- 2 会場 加須文化・学習センター パストラルかぞ 展示室
- 3 入場料 無料